

## 通所リハビリテーションに期待されていること



### 人は、何故食べるのでしょうか？

生命を維持する為に食べることでエネルギーを確保しています。口から食べ、栄養が吸収される事で感染症の予防や口腔内の衛生保持に役立つとされています。他の生物も食べ物を摂取しますが人は食物に調理という手間を加え「誰と」

「どこで」食べるかを気にします。食事には家族や知人と食卓を囲む一体感、コミュニケーション、料理の匂い、色、味、食感など五感に働きかける作用があります。つまり単に食物をエネルギーの確保と捉えるだけでなく楽しむという文化も育まれているということです。「おいしかった」「おなかいっぱい食べた」という満足感が得られると体も心も元気になり、笑顔も増えます。



我々は本人の食べる力を評価し、食事の形態を提案しますが安全面を考慮しつつ食事が楽しめるように本人の希望を叶える取り組みをしています。

### 食事での課題

脳梗塞後遺症により摂食嚥下障害が出現したAさん。食事や水分でのムセが目立ち、誤嚥性肺炎を繰り返していました。

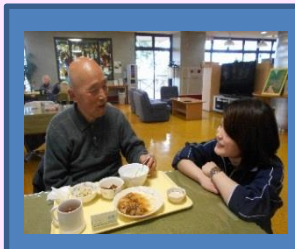


### 専門的評価（言語聴覚士）

食事の評価として、舌の麻痺があり、さらに噛める歯が殆どないため、軟らかくまとまりの良い形態が良いと考えてキザミとろみ食を提供、また食べるペースが速いこともムセの要因となるため、一口量を少なくするようティースプーンを使って食べてもらうことにしました。

### 食事支援は『継続』が大事！

在宅支援として、介護者である妻に施設での食事を見学してもらいました。自宅で調理される食事が施設で提供しているものと同じ形態であるか確認して頂き、さらにムセの程度や見守りの方法、また休憩を促すタイミングについてお話ししました。リハ会議（3ヶ月ごと）では、自宅での食事の様子や調理、新たな課題はないか都度聞き取りをさせて頂きました。嚥下障害を有しながらも能力を維持され、現在も自宅で妻が調理したお食事を召し上がっておられます。



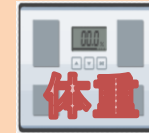
## サービス紹介

### 栄養への専門的評価（スクリーニング）



**低栄養の予防**  
低栄養状態になると…

- 免疫力が低下
- 筋肉や骨が減少
- 床ずれができやすくなる
- 生活意欲の低下



低栄養の早期発見のために鴻池荘ではご利用者全員の体重を定期的に測定し、経過を追っています。ケアマネージャーへの報告も行っています。

ご利用者の低栄養予防のために、まず体重を知りましょう

## 利用者作品紹介

### 『ライオンのマスコット』



保育所の進級祝いとして取り組んでいるマスコット作り。「いつも遊びに来てくれる保育所の子ども達のため、少しでも手伝いたい」と針を手にとってくれました。

縫い物はとても久しぶり  
だけどもがんばりました！  
(御所市のN氏の作品)



介護老人保健施設鴻池荘  
受付時間 9:00~17:00

TEL 0745(64)2180  
FAX 0745(62)1092  
担当者：相談員

★ が得られます

様々な情報がより簡単に手に入れられるようになった現代では食事也多様化してきています。多様化する中で食事に求めるものの変化しており

家族や知人と食卓を囲み、におい、色、味、食感など五感に働きかける、食事は全てが楽しみに繋がります。

単なる欧米化だけの話ではないということです。

